

# 5万食 記布

障害者による団体を運営する団体を運営して、生活困窮家庭向けにレトルトカレー5万食を提供した。学校中綱も未来県民会議

の未来県民会議

# 日本KFCと協定 子ども食堂に提供

でチキンが提供されおり、那覇市社協が括して注文を受け付けているが、「今後は

沖縄県子ども未来政策課によると、県内の子どもの居場所はおよそ220カ所あり、そのうち子ども食堂の機

国立民族

9月



Akaneさんの写真の横で「分身」のオリヒメが接客

障害者が家にいながら接客の仕事ができる喫茶店が横浜市内にオープンした。JR東日本関連会社が市の公募に応じて関内駅高架下に2月に開店した「ツムギステーション」は、分身ロボット「Ori-Hime（オリヒメ）」を客席に設置。障害者はこの「分身」を通じて、客から注文を取りつたり世間話をしたりする。市は障害者の新しい働き方を提示したいとしている。

ツムギステーションは市が所有する土地と建物を貸与された喫茶店で、市は「障害者就労啓発施設」と位置付けており、生徒が運営する団体を運営して、生活困窮家庭向けにレトルトカレー5万食を提供した。学校中綱も未来県民会議

## 横浜 関内駅の喫茶店

# 障害者の分身が接客

スステーションが運営する一般の飲食店だ。職員がこなすが、平日午後2～6時は「パイロット」と呼ばれる9人のパイロットは

スステーションで20年以上

勤めている障害者がオリヒメ

を使つて交代で働く。

秋田県内に住むAkaneさん（29）もそ

の一人。1回の勤務は

1時間で週に2回ほど

働く。6年前に慢性疲

労症候群と分かり、ベ

ッドで過ごす時間が長

いため、連続して長い

時間働くのは難しい。

「家と病院を往復す

るだけの生活がガラリ

と変わった」と話すAkaneさん。話しこ

きな性格がこの仕事に向いていると感じ、他

にも三つ同じような仕

事を掛け持つ。

1週間の総労働時間は約10時間。「できそ

うなことから仕事を探

すことではなく、好きなことを仕事にすること

もできる。そんな時代

になった」と話す。

9人のパイロットは筋ジストロフィーなど

身体障害のある人だ。

オリヒメを開発した株

式会社に登録し、同社から店舗に派

遣されて働く。住まい

は福岡、大阪、鳥取、奈

良などバラバラで、横

浜市内の人はない。

店長の三好貴裕さん

は「お客様さんは同じ故

郷のパイロットがいる

と地元ネタで話が弾む

ようだ」とみる。

市は「横浜市民で障

害のある人にもぜひ働

いてほしい。また、障

害者作業所で作られた

菓子などの販売場所

や、人が集まるイベン

ト会場としても期待し

てほしい」という。

オリヒメはパソコン

やスマートフォン

でチキンが提供されており、那覇市社協が括して注文を受け付けているが、「今後は

沖縄県子ども未来政

策課によると、県内の子どもの居場所はおよ

そ220カ所あり、そ

のうち子ども食堂の機

械による調査結果によると、県内の子どもの居場所はおよそ220カ所あり、そ

のうち子ども食堂の機